



第 131 号

発行所 宇都宮市姿川第一小学校
栃木県小学校長会事務局
発行責任者 橋本和英
印刷所 株 式 会 社 宮 本 印 刷

力が集まる

栃木県小学校長会長 橋本 和英



私たち校長はこれまで、学校教育の充実・発展のため、政治・経済・文化などのあらゆる分野で変化している社会において努力を続けてきました。

しかしながら、社会はさらに急激な変化が予想され学校では、子どもたちが将来直面するかもしれない困難な問題に立ち向かい乗り越えていく力やこれまで以上に規範意識の養成が課題

としてあげられています。

こうした状況を踏まえ本会として、活動基本目標を「新しい知を活かし、豊かな心をもった子どもの育成を目指す 学校経営の推進」と定めました。

これは、学習指導要領に基づいて、自主性・自律性を確立し創意工夫をして確かな学力の向上を図り、倫理観・規範意識などを身に付けていくために豊かな心を育み、体力づくりなど健全な体を育てるといった知・徳・体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を一層推進していくことにあたります。

その推進のため、私たちはこれからの教育の創造に向け積極的に情報を収集し、ネットワークを駆使して学校改善の研修に努め、確固たる学校経営のビジョンを構築しながらリーダーシップを発揮しなければなりません。

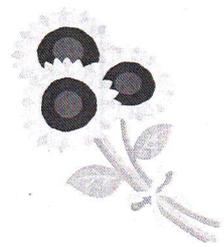
昨年度、先輩方が立ち上げてくださった本会のホームページは、情報交換のツールとして各地区で活用できるものになっていきます。

また、喫緊の課題となっている体罰・いじめ等の問題に対しても、中学校長会と連名で根絶に関する提言がありました。家庭や地域から信頼される学校になるために、教職員が愛情をもって子どもたちに向き合える環境を整えていきたいとの熱い思いのものです。

これらの財産に私たちが培ってきたものを加えていきながら、明日を拓くたくましい子どもたちの育成に向け、組織として機能する校長会にしていきたいと願っています。

最近、多くの場でワークについて話をさせていただいています。ワークとは、見て考えて計画し、実行することのサイクルを回しながら活動することです。誰かに指示されたとおりに進めているのはリーダーであってワークではないと言われています。さらに、チームワークとは、メンバー一人一人がチームの目的達成のために、お互い承認した計画に従い、メンバーを信頼した上で自分の仕事を進めていくこととなります。

一人一人がチームの一員として力をそれぞれ発揮できる校長会となるよう、頑張ってください。



第六十七回 栃木県小学校長会総会

平成二十六年 度 県 小 学 校 長 会 が 五 月 十 五 日 に 県 教 育 会 館 で、 県 教 育 委 員 会 教 育 長 の 古 澤 利 通 様 を は じ め、 多 く の ご 来 賓 を お 招 き し て 開 催 さ れ ま し た。

橋本和英会長は挨拶の中で、「今後の教育の創造に向け、積極的に情報を仕入れ、ネットワークを駆使して学校改善のためにリーダーシップを発揮しなければならぬ。そのためにも、県校長会ホームページ等も活用し、情報を共有しながら協力して取り組んでいきましょう。」と述べました。

その後、事業報告や決算報告、今年度の事業案や予算案が審議され、承認されました。

研修会では、宇都宮大学教育学部長の藤井佐知子先生から「これからの日本の教育を考えるー子どもたちの力、教師の力ー」と題して講演があり、多くの示唆に富んだお話を聞くことができました。

平成二十六年
活動目標

本校長会は、新たな時代の要請に応える教育の実現を目指し、次の基本目標を掲げ、知・徳・体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を一層推進する。

今後、積極的に情報を収集し、ネットワークを駆使して学校改善のための研修に努め、学校経営及び日常の教育活動を通して積極的に研究・実践を積み重ねていく。

《基本目標》

新しい知を活かし 豊かな心をもった子どもの育成を目指す 学校経営の推進

《具体目標》

- 一 学校経営の充実
- 二 創意ある教育課程の実施
- 三 社会の変化に対応した教育の推進
- 四 豊かな情操と道徳心を養う教育の推進
- 五 教職員の指導力の向上と人材育成
- 六 危機管理意識や能力の高揚
- 七 関係諸機関との連携と組織の強化

地区会長一覽

宇都宮・上三川 大豆生田將

宇都宮市立昭和小学校

教育環境の整備・充実を

目指し、会員相互の情報共有と連携を図りながら組織的に諸課題の解決に取り組む校長会を目指します。

上野 阿久津恵子

日光市立下原小学校

会員相互の情報交換を密にし、研修を深め、連携して課題の解決に取り組む校長会を目指します。

芳賀 清宮 正道

茂木町立須藤小学校

三十二名の会員と協力しながら、今日的教育課題の解決に向けて、積極的に取り組む校長会にします。

下都賀 落合 輝

壬生町立壬生小学校

今年度から壬生町と野木町の二町(十三校)になつてしまいました。連携を密に、互いの力量を高め合うことができる校長会を目指します。

下野 高木 明

下野市立石橋北小学校

一人一人の経営ビジョンを生かした特色ある学校づくりを進めると共に、お互いに連携し様々な教育課題に前向きに取り組む校長会を目指したい。

小山 中山 和彦

小山市立大谷東小学校

『最も人を動かす影響力は人柄』であると四月の校長会で明確に伝えました。すべての校長が人柄を更に磨くことにより、学校経営力向上に努めます。

栃木 黒尾 俊夫

栃木市立家中小学校

岩舟町が栃木市に入り、小学校数が三十校になりました。各地域のよさを生かしながらお互いの連携を深め、諸課題の解決に取り組む校長会を目指します。

塩谷 蓮見 徹

さくら市立喜連川小学校

研究主題を「生きる力を

育み、子どもの明日を拓く

学校経営の推進」とし、研修に積極的に取り組み、校長自身の経営向上に努める校長会を目指します。

那須 田代 敏明

那須町立伊王野小学校

会員相互の連携を深め、那須地区の、地域の特性を生かした教育の伝統を受け継いで、更に新しい時代にふさわしい教育を目指していききたい。

南那須 加藤 誠一

那珂川町立馬頭東小学校

一市一町内の各小学校がもつ特色を生かしながら、全体研修や研究大会を通して、南那須地区全体の学力向上に向けた取組に邁進する校長会を目指したい。

佐野 三枝 芳則

佐野市立天伏東小学校

情報の共有と活発な意見交換により、会員相互の連携を図って組織力を高め、当面する課題解決に向けて

意欲的に取り組む校長会を目指したい。

足利 菅俣 輝雄

足利市立南小学校

信頼される学校づくりの充実・深化を図るため、会員相互の連携を密にした情報交換や全体研修の充実に努め、組織として取り組む校長会を目指す。

平成二十六年
役員一覽

- 会長 橋本 和英 宇奈第二
- 副会長 大豆生田將 宇・昭和
- 副会長 高木 明 下野有禮
- 副会長 荒川 順光 栃大平南
- 副会長 阿久津恵子 日光下原
- 書記 金子 光明 宇・海道
- 書記 大塚千枝子 宇・陽光
- 書記 岩崎 和則 足毛野南
- 書記 湯澤喜代子 宇西が岡
- 會計 高山 裕一 宇・西原
- 會計 濱澤 徹 秀賀七井
- 會計監査 鈴木 隆志 下都毛北
- 笠井 正佳 那・薄葉
- 飯島 安夫 佐・三好

専門部

活動方針

総務部

部長 大町 秀夫
宇・中央小学校

一 主題

栃木県小学校長会活動方針の具体的な推進

二 活動目標・内容

本会の事業推進及び連絡調整、並びに教育懇談会等による対策活動の推進、各部会に属さない必要事項の処理を行う。

(一) 県小学校長会定期総会の準備・受付等

(二) 提案事項作成のためのアンケート実施と集計及び提案事項の検討

(三) 提案事項作成と提出

(四) 県教育委員会との教育懇談会

(五) 提案事項に対する回答の整理

(六) その他、全連小三地区対策・調研担当者連絡協議会に参加し、本県の実情等の発表を行う予定

研修部

部長 田中 政男
宇・豊郷中央小学校

一 主題

新しい知を活かし豊かな心をもつた子どもの育成を目指す学校経営の推進

二 活動方針

全連小大会主題と栃木県小学校長の基本目標に基づき、次の活動を推進する。

三 活動目標・内容

(一) 各地区の研修計画に基づく全員参加による研修の充実と推進

(二) 各種研究大会及び研修会の推進と協力

・第六十六回全連小埼玉大会への参加

・第六十六回関ブ口埼玉大会の分散会での提案

(本年度は、さいたま市にて、全連小大会と関ブ口大会が同時開催)

・第五十七回中央研究大会の実施(県内講師と外部講師による講演)

(三) 研修記録「第五十四号」の編集・発行

調査部

部長 菊地 修一
宇・平石北小学校

一 主題

各学校が取り組んでいる「生きる力」を育む教育の現状についての調査研究と資料の提供

二 活動目標・内容

各学校が取り組んでいる教育活動の状況を調査研究し、学校経営上の諸課題解決のための資料として提供する。

(一) 土曜授業について

(二) 危機管理マニュアルの整備状況について

(最終年度) ※この二点について、七月下旬から八月月上旬に調査のためのアンケートをメールで送付いたします。

期限までに各地区調査部長へ回答くださいますようお願いいたします。

調査の結果は、報告書にまとめて配付いたしますので、各校の教育活動改善の資料としてご活用ください。

厚生部

部長 野中 政治
宇・清原中央小学校

一 主題

福利厚生の充実と健康増進・健康管理の推進

二 活動目標・内容

会員の福利厚生に関する各種事業を推進する。学校生活協同組合との連携により、会員の福利厚生の充実を図る。教育関係諸団体と合同で県教育委員会に対し、会員の福利厚生事業の充実のための要望を行う。

県小・中学校長会慶弔規程に基づき、会員の慶弔に関する事業の執行ならびに会務担当として会計の任にあたる。

※平成二十六年度は、小学校長会の厚生部が担当する。

会員のための福利厚生に関する各種事業が効率的に実施されるよう努め、実質的な効果が上がるよう努力する。

(三) 県校長会のホームページの運営・管理

広報部

部長 五味田優子
宇・清原東小学校

一 主題

県小学校長会の活動目標の具現化に関わる広報活動の推進

二 活動目標・内容

校長が今日的課題や当面する学校経営上の諸問題に取り組み際の情報を提供する。

(一) 校長会報の年二回発行(七月・二月)

・特色ある学校づくり
・豊かな心を育てる学校経営

・県校長会研修の取組
・県教育委員会からの情報

・全連小の動向・情報
・心に響く様々な話題

・全連小広報活動への協力(機関誌「小学校時報」など)

(三) 県校長会のホームページの運営・管理



〔主張〕 「大きな変化の中で」

栃木県小学校長会副会長 大豆生田 將



大学入試改革、教科書検定基準の改定等々ものすごいスピードで改革が進められています。

昨年度、県校長会の会合で、いくつかの地区の代表の先生方と情報交換をする機会がありました。

ある町ではこの五年間で小学校が統廃合により半減してしまったこと、またある市では、ここ二年間で校長会のメンバーが半数以上も代わってしまふこと等々。その急激な変化に大変戸惑うとともに今後、それらの影響がどのような形で出てくるのか心配であるというような話でありました。

小学校教育においても例外はなく、我々校長も変化に対して先見性のある経営ビジョンと具体性をもった取組を行っていかなくてはなりません。

しかしながら、その基盤となるのはやはり学校の組織力であり、それを支える教師力です。元国立教育研究所長の菱村幸彦氏は「流」としての教育改革より、教育の不易の大切さを強く感じる。」として「学校教育における不易とは、一つは、目の前にいる子どもたちに学力をしっかりとつけてやること、もう一つは、目の前にいる子どもたちをよい人間に育てることの二つだと思ふ。この二つのことをしっかりと実践するのが学校の役割であると考えます。」と各地の講演で述べられています。教育がいかに時代の変化に晒されようとも「教育は人なり」と言い継がれてきたように、我々は教育の主人公としての自覚と信念をもった人材を育てていかななくてはなりません。

〔主張〕 同僚性の構築を目指して

栃木県小学校長会副会長 高木 明



そして、教師が力を合わせ協働の意識をもって子どもと向き合える組織環境を整えていくことが我々校長会としての大きな役割であると痛感しています。学校教育の充実のため、378名の会員皆で結束して歩んでいきましょう。

私が新規採用の教員として赴任した学校は、「ちょっと小学校」と言われる、夜遅くまで仕事をする研究熱心な学校でした。その当時、理科を研究教科として「単元の導入部における課題提示の工夫」という主題で、児童が興味関心をもてるような教材を提示し単元

全体を貫くような強い問題意識をもたせるといふことをねらいとした学校課題研究に取り組んでいました。小学校四年理科の「空気の温度とかさ」の単元で、研究授業を行うことになりました。そこで問題となつたのが単元の導入でどのような教材を用意し、どのように実験を行い、どのような問題を作らせるかということでした。何度も部会を開いて話し合い、辿り着いたのがフラスコ噴水でした。水を入れた丸底フラスコを

温めると、取り付けたガラス管の先から、水が勢い良く噴き出るのでした。この教材なら、児童の意欲を喚起でき、温度と体積変化の関係に着目しやすいと考えました。そこで、「噴水を高く飛ばそう」と投げかけ、4人グループで自由に試行させることにしました。二時間には、この実験を通して疑問に思ったことや考えたことを全員で話し合い、学習問題をまとめるようにしました。

大学で理科を専攻した私にとって、この学校課題はまたとない研修の機会でした。特に、部員が夜遅くまで議論し合い、とても楽しかったことが記憶に残っています。

本校でも、授業研究会では、アットホームな中、忌憚のない意見交換が行われています。と同時に、教職員同士の理解も深まり、お互いに協力し助け合う雰囲気も生まれてきました。いわゆる、同僚性が高まってきたのを感じています。

豊かな心をもち 輝いて生きる 子どもの育成を目指す学校経営

心豊かなたくましい児童の育成を目指して

那須烏山市立江川小学校 小林 暢子



進んで発表する子どもたち

本校は、栃木県東部、八溝山系に位置する那須烏山市北西部の児童数百七十二名の学校です。緑豊かな「輝葉台（きょうだい）」、広い校庭、広大な農園など、環境に大変恵まれています。本校では、「自ら考え、

進んで行動する、心豊かなたくましい江川の子」を目指し、「しんせつな子・考える子・がんばる子・はたらく子」の育成に努めています。

一 ABC/R運動

那須烏山市では、昨年度から、明日を担う子どもたちが社会の一員として豊かに生きるための基礎的資質を培う「ABC/R運動」を、子どもも親も地域の大人もみんなで推進しています。A「あいさつ」、B「時間前行動（ビフォア）」、

C「クリーン」、R「立腰（りつよう）」です。本校では、毎月の生活・学習の目標に位置付けて、重点的に指導を行っています。

二 レインボープラン

本校では、確かな学力や学ぶ力、学習意欲の向上などの育成を目的として、「えがわレインボープラン」を実施しています。朝の学習、レインボータイトム、音読タイム、ノート指導、書く指導、発表の場、家庭学習の七つのプランを、学年の実態に応じて、具体的な努力点を

設けて実施しています。
三 学校課題研究

昨年度から、学校課題のテーマを「基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用する児童の育成」として、算数科を中心に研究を推進しています。身に付けた基礎的・基本的な知

人と関わり、地域に根ざして生きる児童の育成

野木町立南赤塚小学校 石崎 雅也

本校は、県南東部の野木町にあり、茨城県境に位置

村地帯と駅周辺の新興住宅・集合住宅街が混在し、本年度四百十三名の児童数は、近年、増加傾向にあります。また、学校に近い県南地区

○小中の連携

唯一の児童養護施設からも子どもたちが毎日元気よく登校しています。以上のような地域特性を持つ本校では、家庭、地域社会や関係諸機関との協働体制を効果的に図り、地域に生きる子どもたちの健全育成を目指し、次のような活動を行っています。

識・技能を用いて課題を解決し、新たな基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けていく児童の育成を目指しています。十一月二十七日（木）の研究大会に向けて、全職員が一致協力し、更なる指導の充実に努めています。

一 幼保小中連携の充実
○幼保小の連携
情報交換を学期に一回行うほか、互いの授業や保育の様子を参観し研修する機会をもつことで、児童理解に役立てています。

○小中の連携

小中互いの子どもたちの情報交換を行うほか、中学校から小学校の様子を見に来てもらっています。また、教員が互いに相手先で授業を行ったりするとともに、中学生が小学校を訪問し、小学生を相手に授業の補助をしたり実技指導を行ったりしてくれています。

二 農業体験活動の充実

学校周辺の地主さん等に田畑の提供や農業用水の管理をしていただき、農業体験活動を行っています。児童から「畑の先生」と呼ばれている農業指導者の方や保護者等の協力により、各学年とも様々な野菜を栽培収穫し、給食の食材としても活用しています。

特に、六年生はもち米の栽培も行い、春の初蒔き、田植えから秋の稲刈りまで、全員が貴重な体験をさせて

いただいています。そして、収穫後は、PTAの協力により、全校児童が餅つきを行い、普段お世話になっている交通指導員、地主、学校ボランティア等の方々と一緒に餅を食しながら、「感謝の集い」を開催しています。



オープンスクール（餅つき）

特色ある学校づくり

『走ってとんで ねて 食べて 元気いっぱい 祇園の子』

下野市立祇園小学校 阿嶋 敬一



かんぴょう給食でのレディオベリ取材風景

本校は、県南部の下野市（旧南河内町）に位置し、自治医科大学周辺開発に伴い、急激な人口増加をみているグリーンタウン地域に昭和六十三年に開校し今年度二十七年目を迎える学校である。校区には、自治医科大学・附属病院があり、その医療関係者の多くの子弟が通う。そのため、児童は個性豊かで意欲的であり高い学力を誇る。一方、運動能力・体力等に改善の必要があること、バランスのと

れた食事に課題があること、などの実態が見られ、平成二十四年度から健康教育の充実を重点課題とし、全職員が全教育活動を通して総合的に推進を図っている。内容としては、児童にとつて親しみやすい健康教育スローガン「走って とんで ねて 食べて 元気いっぱい 祇園の子」を設定し、学校保健、学校安全、食育・学校給食、学校体育の担当者をも有机的に連携させた学校独自のプロジェクト

△を組織し、「体力の向上」、「質の良い睡眠」、「朝食の栄養バランス」を健康課題とし改善に取り組んだ。特に食育に関しては、学級担任と栄養教諭がコラボした学級活動の指導、食育便りによる保護者への啓発、給食勉強会などを実践している。また、朝ごはんの重要性を児童に周知するため、朝ごはんポスターを作成して各階に掲示したり、児童会給食委員会による健康教育の寸劇の発表などを行ったりした。これらの成果により平成二十四・二十五年と二年連続で健康推進学校、平成二十四年度は全国優秀校を受賞している。また平成二十五年度には県学校給食優良学校表彰に輝いている。

今後とも、多様化していく次代を生き抜く力の基盤となる健康教育を推進して児童一人一人に健康な心身を身に付けさせ、豊かな心や確かな学力が更に育まれることを心から願っている。

本物にふれ、郷土愛を育む

塩谷町立船生小学校 吉成 富夫

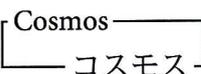
本校学区は、鬼怒川北岸に広がる河岸段丘の豊かな自然の中にあります。また、歴史遺産も数多く点在しています。卒業生には、有名な方が多く、校歌は「船村 徹先生」の作曲によるものです。作詞家の「木下龍太郎先生」も本校出身です。

郷土が誇る「自然」「歴史」「人」の「本物」を取り込みながら教育活動を展開しています。児童が、「本物」に学ぶため、町のボランティアバンクや本校独自の保護者・地域関係者からなる「文化・体育後援会」（保護者全員が文化・体育面で支援が可能な活動に参加するPTA活動）の支援を本校教育活動に計画的に取り入れています。

今年の三年生は、「船生地区の自然や文化」を総合の時間のテーマに設定して、活動を進めています。二年生の時にボランティアの皆さんの支援の下、川遊びをしたことで、川に興味をもつことができたのではないかと思います。



川遊びの様子 (生き物調べ)



栃木県女性校長教頭会だより

栃木県女性校長教頭会会長 齋藤 みつ子

本会は、県内公立小・中学校の女性校長九十二名と教頭(副校長)一八九名、計二八一名の会員で組織されています。女性校長教頭相互の連携を密にし、女性管理職としての資質の向上を図ることを目的に、年二回の研修会を実施しています。

第一回目の研修は、五月に、栃木県教育委員会学校教育課主幹 野中和明様を講師にお迎えし、ご講話をいただきました。「強い風を吹かせて、全職員を同じ方向(ベクトル)になびかせることが管理職の仕事」と言う言葉が強く心に残っています。

昭和四十五年の本会結成以来、幾多の困難を克服しながら、現在の私たちの道を拓いてくださいました先輩諸姉の思いを継承し、知性・感性・品性を磨き、子どもたちに生きる力を育む魅力ある学校経営を目指して研鑽に努めたいと思えます。



「とちぎの子どもたちの学力向上に向けて」

栃木県教育委員会 学校教育課

県教育委員会では、とちぎの子どもたちに確かな学力を育むために、「とちぎつ

状況調査」を実施し、六月末に調査結果を返却いたしました。

本調査は、プロジェクトの要であり、調査結果に基づき検証改善サイクルの確実な運用に向け、学力向上担当者を中心に学校が組織的に取り組むことが重要となります。

今後、調査結果を分析し改善策を検討されることと思いますが、県教育委員会

平成二十六年関係プロ校長会理事会だより

副会長 大豆生田 将

五月九日(金)埼玉県さいたま市「プリランテ武蔵野」

で、平成二十六年度第一回理事会が開催されました。

- 会長あいさつ
- 全連小会長あいさつ
- 協議

- ・平成二十五年度会務報告、会計報告、監査報告
- ・平成二十六年役員選出
- ・平成二十六年度事業計画案、予算案

- ・第六十六回全連小埼玉大会
- ・第六十六回関プロ埼玉大会

では、学力向上アドバイザーの派遣や調査結果活用研修会の実施、指導改善資料の作成・配布など、複数の手立てで、各学校の学力向上に向けた取組を支援したいと考えております。

各学校が、本調査を効果的に活用し児童生徒一人一人の学力向上を図れるよう、校長先生方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

玉大会について

- ・第六十七回関プロ新潟大会について 十三分科会、二十六分散会、栃木県参加割当三十八名
- ・第六十八回全連小東京大会について 平成二十八年六月九日・十日なかのZEROHール決定

- 情報交換等
- ・本年度会員数は前年度比四十六減で六千三十八名
- ・大会前日の発表者、司会者の勤務態様について

- ・平成二十六年度役員選出
- ・平成二十六年度事業計画案、予算案
- ・第六十六回全連小埼玉大会
- ・第六十六回関プロ埼玉大会

「全国連合小学校長会

第六十六回総会から」

栃木県小学校長会長

橋本 和英

五月二十三日、東京虎ノ門ニッショウホールにて、全国の小学校長を代表する理事・代議員約六百名が参加し、第六十六回総会が開催されました。

冒頭、堀竹充会長(東京都新宿区早稲田小学校)は、教育環境設備の充実に力を入れるとともに、研究主題のもと実践を積んでいきたいと抱負を述べられました。

議事では、学校経営の充実、研究活動の充実、生きる力の育成を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善、教職員の資質能力の向上、教職員定数や処遇改善の五つの活動方針の提案と各部の活動方針が示され、了承されました。

研修会では、文科省前川初等中等教育局長の講演、続けて財政課長などから行政説明があり、盛会のうち閉会しました。



話題の広場

本校の宝物

佐野市立佐野小学校
猿橋 誠



今年で創立百四十一年目を迎えた本校の校長室には、子どもたちの興味を引く宝物がたくさんある。

その一つは、明治三十一年に寄贈された大時計。高さは二・六呎と天井に届く大きさ。木製ケースの上部には鳳凰とみられる鳥が彫刻され、周囲にも花などの彫り物が施されている。振り子の長さは約一呎、百年以上にわたって学校とともに時を刻んできた宝物。

さらに、一際子どもたちの目を引く宝物が青い目の人形である。昭和の始め当時の日系移民排除の気運を憂いた米国人宣教師の提案で、日米親善の架け橋にと、米国の子どもたちから

全国の小学校や幼稚園に約一万二千体が贈られた。しかし、戦時中にほとんどが敵国の人形として処分され、現在では全国でも二百五十体ほど、県内では五体だけしか残されていないという。校長室の宝物を見ながら目を輝かせている子どもたちとの時間は実に楽しい。そんな時思うのは、どんな宝物よりも、本校の一番の宝物は、目の前にいる子どもたちなのだ。

運営拠出金

委員会だより

運営拠出金
委員長 谷田部恒男

県小学校長会は、各地区小学校長会で組織する連合機関であり、その主体的活動の充実強化を図るために運営拠出金の保管と管理を図るために運営拠出金委員会が設けられています。本会費は、新会員の皆様に拠出していただいで

おりますが、県からの補助金カット、市町からの法令外負担金の減額もあり、基金造成が年々、困難な状況になってきております。今年度も、本会計研修等への補助、全連小兼関プロ資金援助等の支出により、各地区への補助金は、昨年度に引き続き減額せざるを得ませんでした。各地区の会員の皆様には、運営拠出金の状況等をご理解の上、充実した研修が図られますようお願い申し上げます。

県小学校長会

事務局だより

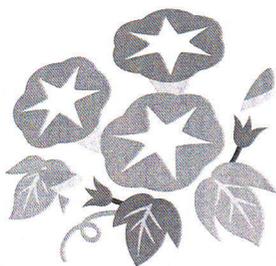
事務局長 佐々木和美

五月十五日の総会（代議員制）で、平成二十六年度の活動の方向が決定し、小学校長会の活動がスタートしました。会員の情報交換と広報活動が目的のHPの運用が軌道に乗り、先日、地区及び市町のHP運用担

当者研修会を開催しました。その方々を先頭に、各地区・各市町での活用をお願いいたします。今後、どのような内容にしていくか、皆様からのご意見を地区の広報部の方を通してお寄せください。

今年度は、全連小（関プロ）埼玉大会です。足利地区と栃木地区からの提案があります。近いので日帰りの二日間出張となります。

さて、事務局は今年度も佐々木と高柳です。勤務は、九時～十六時（昼休み一時間）です。不在の場合は留守電設定にしておきますので要件をお話ください。



編集後記

第二次安倍内閣では、経済改革だけでなく教育改革も進められています。六・三制の教育制度改革、道徳の教科化、小学校からの英語教育、教育委員会制度改革等、どれも大きなものばかりです。

こうした中、平成二十六年度校長会も「新しい知を活かし、豊かな心をもった子どもの育成を目指す、学校経営の推進」を基本目標に新役員さんを中心に活動が始まりました。

教育には、昔から不易と流行があります。学校現場は、常に子どもがいて教材あり、そして教師がいるという構図は変わりません。どんな時代においても元氣な子どもたち、教育愛に燃えた教師によって豊かな人間教育が可能となります。

お忙しい中本号へ玉稿お寄せいただきました会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

小山市立羽川西小学校

石川 治夫